

でいる。

昔、この山に狼が、任んでいた。村人たちはオイノコと呼んで、山に入ることを非常に恐れていた。

あるとき、村人が、たまたまこの坂を通りオイノコに出合ってしまった。村人は、あまりの恐しさにあわてふためき、屁をひりながら逃げ帰ったという。それからだれいうことなくこの坂を屁っぴり坂と呼ぶようになった。

(話者 森田昌樹)

二塚の由来

《下木之崎》

上木之崎と下木之崎の境に、二塚という字名がある。昔からここには二つの塚があったので、この地名がついたと伝えられている。

古噴と思われるが、この塚を掘ると、「目がつぶれる」いわれていたので、だれも掘る人はいなかった。今も塚は小さいが、星源一氏宅の森の中にあり、御幣が立てられている。一つは森の外にあり、開田工事のため、小さくなったが残っている。

(話者 星保教・森田昌樹)

二塚



屁っぴり坂



六角坂

